



作品展
ファスナーで遊ぶ2

2026年3月14日(土)

13:00~19:00

社のホールはしもと ミウイ橋本8F

(無料)

作品展「ファスナーで遊ぶ2」に寄せて

ファスナーは、日常的に着用するスカートや上着などに縫い付けられている、ごく身近な副資材です。しかし、その開閉という単純な操作によって、衣服の構成パーツは外れたり結合したり、別の部品を取り付けたり、位置を変えたり、押さえたり、内側を露出させたりと、多様な変化を生み出します。

スライダーを動かすことで、立体的な衣服は平面化され、带状となり、さらには分解されて、元の形態とはまったく異なる姿へと変容します。糸で縫合するのでもなく、接着剤で固定するのでもなく、双方の部品を可逆的かつ容易に結合・分離できるこの部材は、きわめて不思議で興味深い特性を備えています。私は、こうしたファスナーの尽きることのない可能性に着目し、イメージを膨らませながら衣服のデザイン・制作を行ってきました。制作を重ねるうちに、いつしか「ファスナーで遊ぶ」ことそのものに没頭していました。

本作品展では、2015年8月に開催した個展「ファスナーで遊ぶ1」(ガレリア原宿)で発表した作品に加え、その後に制作した作品、さらに学生とともにファスナーをテーマとして取り組んだ作品を展示しています。



孔雀(後面)

ファスナーという素材は、開閉という動作によって「変化」を表現できる特性を持っています。本作品は、その特性を活かし、孔雀が羽を広げる瞬間をドレスで表現しました。後ろ裾に配したファスナーを全て開くと、鮮やかでカラフルな大きな羽が現れ、孔雀が誇らしく羽を広げたかのような姿へと変化します。一方でファスナーを閉じると、装飾は静まり、洗練されたブルーのシフトドレスへと変化します。

警告！海を守れ

本作品は、私たちの日常生活から生まれる廃棄物への意識と行動に、強く警鐘を鳴らすことを目的としています。曲線を描くファスナーを開くと、色鮮やかな珊瑚礁や海藻が広がる、生命に満ちた豊かな海が現れますが、ファスナーを閉じると、その景色は一変し、マイクロプラスチックや有害化学物質に侵された、灰色の海へと変貌します。

2WAY変化の波模様ドレス

ファスナーの開閉によって、二通りの波模様が現れるドレスです。ファスナーを開くと、水がゆるやかに流れる模様の優美なAラインシルエットに。閉じると、水の流れが残した筋模様が際立つスレンダーラインへと変化します。一着で異なる表情を楽しめる、動きと水の情景を纏うドレスです。

●ミウヰ橋本への交通アクセス

JR横浜線・相模線「橋本駅」 京王相模原線「京王橋本駅」北口

●お問合せ

東京家政学院大学 生活共創学部 生活共創学科 被服構成学研究室
〒194-0292 東京都町田市相原町2600
富田弘美 tomita@kasei-gakuin.ac.jp